



地震がふえています！
備えをもういちどお確かめください

(10月6日 NHK NEWS WEB)
【青森県で震度5強 津波なし】

氣象計測機器の開発は、昭和6年（1931）に着手

気象庁は、この震度6弱前・時4分33秒、巻三

の地震があり、震度5強の強い揺れを青森県階上町で観測しました。また、震度5弱の揺れを青森県の八戸市と南部町、それに盛岡市で観測しました。このほか、震度4から1の揺れを東北や北海道、関東、それに新潟県の広い範囲で観測しました。

この地震による津波はありませんでした。気象庁の東田進也地震津波監視課長は午前4時50分から記者会見を開き「揺れの強かつた地域では落石や崖崩れなどの危険性が高まっているので、今

「この地震による津波はありませんでした。」

十一



最大5倍
青森県で震
2021年10月6日 5時18分

▲岩手町では、国道4号線の信号機の支柱が折れて道路の一部をふさぎました。現場では、午前6時半ごろからクレーンを使って道路上の柱と信号機を撤去する作業が行われ、仮設の信号機が設置されました。

「この地震による津波の心配はありません。

大隅半島東方沖を震源とする震

・震源の深さ：約40km

鹿児島・宮崎で震度4の地震発生
10月6日17時13分頃、鹿児島県・
宮崎県で最大震度4を観測する地
震がありました。

(10月6日 ウエザー・ニュース)

また、岩手県で震度5弱の揺れを観測したのは、ことし5月1日に宮城県沖を震源とするマグニチュード6・8の地震以来で、このときには釜石市と一関市で震度5弱の揺れを観測しています。

また、岩手県で震度5弱の揺れを観測したのは、ことし5月1日に宮城県沖を震源とするマグニチュード6・8の地震以来で、このときには釜石市と一関市で震度5弱の揺れを観測しています。

青森県で震度5強の揺れを観測したのは2015年2月17日に岩手県沖で発生した地震以来です。このときのマグニチュードは5・7で、今回の地震と同じ階上町で震源をつけてほしい」と話していました。

その二点で陸のブレーントは沈み込む太平洋ブレーント内部で起きた逆断層というタイプの地震で、東日本大震災後に地震活動がとても活発になつた領域だ。以前と比べ震活動はだいぶ減ってきてはいるものの、震災前と比べればまだ活発な状態が続いているので、今後の地震に十分気をつけよう。

後の地震活動や雨の状況に十分注意してほしい。今後、一週間程度は最大震度5強程度の揺れを起こす地震に注意してほしい」と呼びかけました。

九
改め

「すけさきた」とは
宮城県登米市あたり
「ボランティアに来
意味である

OCTOBER
11
2021

A close-up photograph of a flowering plant, likely a species of Solanaceae, showing large green leaves and small white flowers.



[訂正]前号よりカウントがずれておりました。2021年8月=143号、9月=144号、10月(今回)=145号に訂正いたします。